

◆巻頭言

[還暦の節目に「意味のある作業」を考える](#) 藤原 瑞穂 595

◆総説

[脳卒中患者のSelf-awareness の障害に対する作業療法に関するスコーピングレビュー](#)
. 川田 佳央・他 597

◆原著論文

- [がん患者に対する生活と関連づけたルックスケア評価表の開発](#)
[—Nominal Group Technique を用いた内容的妥当性の検討—](#) 川原 宇央・他 607
- [回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中患者の主観的回復感の発展プロセス](#)
[—複線径路等至性アプローチによる分析—](#) 道願 正歩・他 618
- [精神科デイ・ケアにおけるフレイル予防プログラムの身体機能・精神症状・生活遂行度への影響](#)
[—非ランダム化比較試験による予備的検討—](#) 阿部 来夢・他 627
- [精神科病院における作業療法介入プロセスモデル \(OTIPM\) を用いた](#)
[個別プログラムの実践に携わる作業療法士の主観的経験](#) 今元 佑輔・他 638
- [精神科デイケア利用後に一般雇用での就労を継続している当事者の経験の語り](#)
[—ナチュラルサポートを得て就労継続に至るまでのプロセス—](#) 田中 友紀・他 648
- [日本におけるAYA 世代 \(Adolescent and Young Adult\) がん患者の作業療法に対する実態調査](#)
. 関原 雛子・他 657

◆実践報告

- [生活リズムの可視化により症状への気づきと治療への動機づけにつながり就労継続が可能となった](#)
[一例 —アクチグラフを用いた精神科作業療法—](#) 浦川 瑞生・他 665
- [慢性炎症性脱髄性神経炎およびフレイルを呈する高齢者への介入](#)
[—疲労に配慮した家事役割移譲と身体的負担の軽減を通じた取り組み—](#)
. 中井 秀昭・他 672
- [通所リハビリテーションにて認知機能低下や高次脳機能障害等を有する事例に対し、](#)
[主介護者と多職種の協力のもと課題指向型訓練と](#)
[Transfer Package を簡易的に実施した実践報告](#) 黒田 愛理花・他 678

編集後記

▶学術誌「作業療法」の誌面を通じたうれしい再会を経験することがある。養成課程で出会った彼らが、就職した先で良き先輩を得て臨床・研究を実践し、その成果を発表する場として学術誌「作業療法」を選んでくれたのだと思うと、深い感慨を覚えた。養成教育にかかわるものとして「科学者マインドを持った作業療法士を育てる」という自覚を改めるとともに、学術誌の編集・査読にかかわるものとして「選ばれる学術誌を創る」という使命感・責任感を深めた。こういう経験を通して、私の日々の業務が“meaningful occupations”になってゆくのだなあと感じ、日々の業務をひとつひとつ大切にやっていきたいと思った。

(E・M)

▶12月に入り、いよいよ冬本番の寒さが身に染みる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。心身ともに縮こまりがちな時季ですが、今号も作業療法の熱い取り組みが盛りだくさんのようです。本号では、脳卒中患者の主観的回復感の発展プロセスや精神科デイケアにおけるフレイル予防プログラムの有効性、さらにはがん患者に対する支援の実態など、多角的なテーマが連なっています。2025年は、理学療法士及び作業療法士法が制定されてからちょうど還暦という記念すべき年です。この節目に、WFOTが更新した作業療法の定義には、“meaningful occupations”（意味のある作業）という言葉が盛り込まれました。作業療法が扱う「作業」とは、私たちが生活に関わる活動すべてを指します。この「意味のある作業」を深く捉えるには、クライアントの主観的な「意味」だけでなく、社会的・倫理的な「意義」という次元を重ねることが大切ですね。厳しい寒さの中、私たちは「作業」を通して、人々の人生に希望と豊かさという暖かな火を灯し続けるべく、挑戦を続けなくてはなりませんね。次号もご期待ください。

(T・S)